

小体研

Physical education

2022年(令和4年)

12月12日(月)

◇第4号◇

八重山地区小学校体育研究会広報誌

令和4年度 第43回沖縄県学校体育研究発表大会(宮古大会)

&

㊦上原太郎先生(石垣市教育委員会学校教育課) 沖縄県体育功労賞受賞

11月25日(金)に学体研が宮古島で行われ八重山地区小体研からは、磯部会長をはじめ、計8名で参加してきました。3年ぶりの対面での公開授業及び授業研究会となり、会場も盛り上がっていました。

公開授業は宮古島市立南小学校の佐久本拓実教諭による「フラッグフットボール」と宮古島市立鏡原小学校の平良龍一教諭による「保健：病気の予防」が実施されました。詳細は下枠にて紹介しています。また、下のQRコードを読み取って頂くと、授業の様子を動画でご覧いただけます。

また、昨年度まで会長を務めていた上原太郎先生(石教委)が、これまでの実践や本研究会を支えていただいた実績が讃えられ沖縄県から体育功労者として表彰されました。誠にありがとうございます。

運動領域「フラッグフットボール」



←佐久本教諭

→作戦を伝え合う児童



←作戦を試す子ども達

→授業視聴



フラッグフットボールという競技の特性である、ワンプレーごとにあるハドル(作戦を話し合う時間)の使い方や、チームの特徴に合った作戦をどのように考えさせるかなど、今後実践していく上で意識していきたいことが多くありました。

また、場づくりや教材教具の準備の大切さを、改めて感じさせられました。子ども達が表現しやすくなるような教材・しかけを意識していきたいと思えます。

(参観者代表：久部良小学校教諭 金城幸忠)

保健領域「病気の予防」



←平良教諭

→プレゼンする児童



←養護教諭の専門的知識

→授業視聴



がんについて正しく理解し、予防するためにはどうしたらよいか調べ、調べた内容を家族にプレゼンするという最終ゴールを設定した授業構成でした。グループで共同編集機能を活用してプレゼン作りをしていたので、とてもよかったと思いました。プラスワンを求めると、どのグループも同じような発表になってしまっていたので、それぞれが気になるがんの特性や治療法などを調べて、プレゼンするのもおもしろいかなと思いました。

(参観者代表：黒島小中学校教諭 下地千佳子)

参加者を代表して田島心気朗教諭【今年度学体研紙面発表者：石垣市立登野城小学校】より

授業研究、誌上発表者として宮古大会に参加してきました。研究報告書では、私の授業含めて、沖縄県各地区の研究成果が存分にまとめられていました。運動領域の特性や、研究仮説を検証していく中で、体育の授業実践が洗練されていくと改めて感じさせられました。私が宮古島で参観した運動領域の授業においても、「する・見る・支える・知る」活動を焦点化した活動が行われており、子供たちの資質・能力が育まれていく様子が見られました。体育が得意な子も、そうでない子も楽しく参加できる授業ばかりで、若手としても意識し続けていきたいと感じました。八重山小体研と関わって研究大会に参加した経験をこれからの授業改善に活かしていきます。

【令和4年度 八重山地区小学校体育研究会 研究授業について】

お知らせ

12月に実施予定でした保健領域の公開授業(授業者：川島海斗教諭)が延期となりました。日程は調整中ですが、2月頃を予定しています。決定次第お知らせしますので、ご理解ください。

「体育学習が未来を創る！今、八重山小体研が熱い！」

「がっちりスクラム！やいま体育！」

